

# ひの 議会だより

No. 134

令和4年11月

発行/鳥取県日野町議会



第20回、そして最後の公演となった「結び目」

## 日野に生きる 第9回 「ありがとう、日野町民ミュージカル」 ～輝く歴史をポスターで振り返る～

裏表紙に記事を掲載しています。

### 主な内容

7月臨時会/一般会計補正予算 .....P2～3

支え愛コンビニ・プロジェクト事業について議論しました

9月定例会/一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例改正 .....P4～8

令和3年度決算審査特別委員会/審査報告 .....P9～11

一般質問(5人) .....P12～14

委員会活動報告 .....P15

特集/日野に生きる「ありがとう、日野町民ミュージカル」 .....P16

# 激論! 支え愛コンビニ・プロジェクト

9月末で閉鎖となる安達商事「あいきょう」の事業を引き継ぐ事業者を、どんな条件で公募するのか? 2日間の全員協議会で徹底議論した上、本会議にて全員賛成で可決しました。

## 【事業概要】

○この事業は令和4年10月から令和9年3月までとする。

○業務委託料は年間1316万円

・年間委託料の内訳: 移動販売業務と見守り活動に要する経費1110万円、黒坂店の運営・修繕・管理に要する経費206万円(うち店舗賃借料106万円・管理運営修繕費100万円)

※令和4年度(10月~3月)においては、この半額。

(県負担277万5千円、町負担380万5千円)

○事業運営資金として2000万円を貸し付け、4年間で返済する。

○見守り活動のほか、新規に買い物代行と困りごと支援を事業に加える。

## 全員協議会(7月15日)

### 仕入れ先について

**議員** 新たな人がこの事業をやる場合、安定的な仕入れは可能なのか。

**地域振興監** 仕入れ先については、現経営者である安達商事の仕入れ先を引き継ぐということと調整している。

**議員** 公募をすると言いながら、前提条件がいろいろ決まっている。これでは競争入札と言えないのでは。

**町長** 町としては、移動販売そして

黒坂店でサービスを受ける町民の方の目線で考えている。商品だけが届けばいいというのではなく、30年来にわたって培われてきたあいきょうの特徴を生かすことが、この事業を成功させるポイントだと捉えている。

**議員** 町づくりに関してはわかるが、税金を投入するのだから、そこにはきちんとしたルールが必要だと思ふ。

### 住民福祉の観点から

**議員** この議論をするうえで一番考えなければならぬのは、ビジネスの観点からだけでなく住民福祉の面からの必要性。そこで聞きますが、昨日、住民の方が署名を集めて町長に届けられたそうだが、どんな内容だったか説明を。

**課長** 全部で332件の提出があり、内容を5つほどに分類すると、「車のない自分にはあいきょうが無くなる」と大変困る「コミュニティの崩壊につながる」「子育て支援策は充実しているが、高齢者対策はあまり重要視されていない」「年寄りが見やすい町にしてほしい」というものでした。

**議員** あいきょうがやって来られた移動販売を兼ねた見守り活動は、販売先ひとつひとつでコミュニティを形成している。その思いも次の方に必ず引き継いでいただきたい。

**町長** 見守りにプラスして、暮らしの支援も公募要件として付加したいと思ふ。

### 貸付金2000万円について

**議員** 農協の所有である店舗建物の使用料と維持管理費等で206万円、そのうち103万円を町が負担するとあるが、黒坂小学校の跡地を店舗として活用すれば使用料を払わなくて済む。

**町長** 黒坂小学校の閉校は来年3月なので、10月の新規開業には間に合いません。しかし、活用に関してはその後も検討していきます。

**議員** 事業運営貸付金の2000万円は、無利子、無担保での貸し付けになるのか。

**課長** 無利子であり、また、担保を取る予定はない。

**議員** 貸付金の必要性について伺う。また、4年間で返済とのことだが、返済が可能であるという根拠は。







**課長** 県の事業継承センターや日野

町商工会などと相談したところ、事業の開始に当たっては1年間の売上げの2割は用意する必要があるとのことだった。そうすると、現在の売り上げは年間約1億円なので2000万円が必要となる。返済については、今後の売上げ推移を若干厳し目に見込んでいるので、最終年には全額返済が可能だと認識している。

### 全員協議会（7月27日）

#### 応募資格について

**議員** 応募資格を法人のみとし、個

人はずしたのなぜなのか。

**町長** 個人企業だと、たとえば社長が病気で倒れるなどの事情で事業の継続性と安定性に欠ける場合があり、法人に限ることを考えている。

**議員** しかし、たとえば、あいきょうの現在の従業員の方が手を上げたとしても、個人だから応募できない。それでは間口を狭めることになる。

**町長** わかりました。提案があったので、法人に限らず個人も応募できる形で提案したい。

#### 移動販売の回数について

**議員** 今回の提案では、新たに買い物代行や電球の交換なども行うとある。これは、その事業者が持っている商品については他の商店で購入して届けることも含むのか。

**課長** その通りです。自分で電球の交換ができない場合は、配達者が替わって取り替えて差し上げる。

**議員** 現在の移動販売は、基本的に地区ごとに週2回まわっておられるが、10月からはどうなるのか。

**課長** 現在の回数とルートを踏襲していただき、なおかつ車が大型から小型になるのでさらにきめ細かに回っていただけるのではと考えています。

#### 再び貸付金について

**議員** 貸付に関しては政府系のものも含めて公的な貸付制度がいろいろある。金融機関を利用するとか供託するとかの方法もある。にもかかわらず、町単独で貸し付けることにした理由は何か。

**課長** 実は金融機関とも、制度融資などを利用できないかと協議した。

その中で、2000万円という大きい額は本部や本店の判断を仰ぐ必要がある、9月中の決定は難しいとのことだった。したがって、今回は町からの融資で対応させていただきたい。

**議員** 2000万円もの大金を一事業者に貸し付ける根拠となる条例はあるのか。

**課長** このたびについては、条例ではなく要綱として位置づけたい。

**議員** この重要度からいうと、これは条例として制定すべきでは。

**副町長** 町では町財産の交換譲与、無償貸付等に関する条例を設けており、その中に「物品は公益上必要がある時は他の公共団体または私人に無償または地価よりも低い価格で貸し付けることができる」とあり、この私人というのが法人にも該当する

という考え方をしている。

#### 財源について

**議員** 財源が一般財源になっているが、過疎債なのか基金の取り崩しなのか。

**課長** 財政調整基金を取り崩して事業に充てる予定です。

**議員** これまでは過疎債を使っていたはずだが。

**課長** 過疎債は日野町に認められている枠が現在いっぱいなので、今年度においては基金を活用する。ただ、来年度以降は過疎債も含め、なるべく有利な財源を探して予算編成したい。

#### 町長の決意を聞く

**議員** 移動販売と黒坂店を継続するにおいて、町長の決意を明快に述べてください。

**町長** 移動販売と黒坂店は地域の方々の生活基盤そのものです。ですから、ここにはビジネス以外の公的資金を投じてでも守っていかなければならない、というのが私の強い思いです。

来々4月には、根雨小学校、黒坂小学校、日野中学校の3町立学校がひとつにまとまり、9年生の義務教育学校としてスタートします。その準備事業を審議しました。

安全の町づくりについて議論しました

# 業と日野学園の開校事業を可決

## 義務教育学校建設事業

1205万円

- ネットワーク移設及び設定業務  
150万円
- 学校図書館システム移設及び設定業務  
55万円
- 開校に必要な備品購入費  
1000万円



老朽化のため更新するテーブル

**議員** どの備品をどういう理由で購入しますか。  
**課長** 現場に行きまして使えるもの、規格が合わないもの、老朽化によるもの等で選別して購入予定備品を選びました。児童、生徒の机・イスは比較的新しいので購入はしません。  
**議員** 一覧を見るとテーブル、さすが非常に多い。三校の備品を考慮してSDGsの持続可能な考え方で使えるものは使ってほしい。財源を削減する意味からも再検討を考えませんか。  
**課長** 再利用できるものは使う考えです。今まで各学校とも開校の時の備品を使用しています。新しく開校に伴い、環境をより整備するためにも購入を予定しました。ご指摘な点はもう一度精査はしてみます。

## 総合行政情報 システム管理 575万円

**【概要】** 新型コロナウイルス感染症が続く中、リモートによる会議や打ち合わせが増加したため、庁舎及び開発センターの通信環境を整備する。

- ①庁舎1階、3階各部屋にテレビ会議用LANコンセント整備
- ②庁舎2、3階にパソコン専用無線LAN整備
- ③山村開発センター各部屋にテレビ会議用LANコンセント整備
- ④テレビ会議用パソコン6台
- ⑤50型モニター等会議セット3台

## 義務教育学校に移行する準備費 398万1千円

- 閉校記念のDVD作成 99万円  
3校の校歌、学校の様子などの映像を収録したDVDを150枚作成し関係者に配布する。
- 舞台幕取り換え 96万6千円  
現根雨小学校の体育館ステージに日野学園の校章入り字幕及び袖幕を取り付ける。
- 校旗・校章旗製作 117万5千円  
日野学園の校旗1枚、校章旗2枚を製作。
- 校歌額制作 65万円  
日野学園の体育館、多目的ホール、校長室に掲示する木製の校歌額を作成し設置する。
- 小中学校クリアファイル制作20万円  
小中学校の開校と日野学園の開校にあたり、校舎風景と効果などを印刷したクリアファイルを2千枚製作して町内全戸に配布する。





令和4年度  
**9月定例会**  
 9月5日～9月27日  
**一般会計  
 補正予算**  
 (第5号)

# 教育、福祉、産業振興、安心

## 3校(根雨小、黒坂小、日野中)の閉校記念事

### 住民税非課税世帯等 臨時特別給付金 400万円

**【概要】** 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、加えて原油価格高騰、物価高などでさまざまな困難に直面した方々の支援として、住民税非課税世帯に対して10万円支給しているが、対象者が見込みより増加し予算不足が予想されるため追加補正を行う。全額国庫からの交付金。

**課長** マッチングソフトを活用し、具体的な事業を決め、そこに寄附していただくもので、景品があるというものはありません。本町では地方創生戦略に基づいて内部で検討しており、予算化等は今後になります。



内閣府のポータルサイトより

**【概要】** 7月スタートの町企業版ふるさと納税について、企業とのマッチングシステムを利用し寄付の増額を図るための経費。  
**議員** 企業版ふるさと納税がスタートしたが、現時点での反応、補強策についてうかがいます。

ふるさと納税 11万円

### 森林環境税関連事業

28万7千円

**【概要】** 森林環境贈与税を活用し、本町における森林造りを担う人材確保のために、奈良県の林業従事者の養成機関フォレストスターアカデミーよりインターンを受け入れる本町の事業体とその費用を補助する。  
**議員** 本事業はインターンシップを移住定住につなげ、町の活性化を図るものと理解しますが、全国的な競争の中で実習生の本町への定着について何か秘策はありますか。  
**課長** 何社かある町内林業事業体での就業や、町の会計年度任用職員となることも選択肢として考えております。

## 主な事業

### オシドリ観察小屋新築事業

165万7千円

**【概要】** オシドリ観察小屋は、日野高グラウンドの一角に新設移設し、観察用の備品・消耗品等の必要物品を整備する。  
**議員** この観察小屋は町所有ですが、運営は誰がするのですか。  
**課長** 運営は町ですが、当面はオシドリグループにも支援を受けます。また、従来は入場料無料でしたが、使用料を徴収します。  
**議員** ライブカメラを設置することのことですが、その映像はどのように流すのですか。  
**課長** 町のホームページやチャンネルひのなどの活用を考えていますが、容量制限の問題もあり、リアルタイム放映にするのか、また一日当たりの放映時間などを検討中です。電源はソーラー発電を考慮しています。



新観察小屋は11月から始動

# 主な事業

## 在宅福祉

25万9千円

【概要】災害時の避難行動要支援者の安否確認や避難支援等を円滑に行えるよう、「災害時個別避難計画」を作成するため検討委員会を設置する。また、令和6年に鳥取県で開催されるねんりんピックで、本町もソフトテニスの会場に予定されており、本年度開催地の神奈川県への視察調査を行う。

委員 委員 各自治会との関係は。

課長 この委員会の目的は全体的な計画の作成にあり、集落に出かける前の段階です。

議員 ねんりんピックについては、現時点ではまだ町民にはよく知られていないので、視察後は盛り上げの方策を検討してもらいたいと思います。



日野町はソフトテニスの会場に

(注：ねんりんピックとは60歳以上を中心とするスポーツと文化の全国健康福祉祭)

## 校内通信ネットワーク整備事業 120万4千円

【概要】リモートによる授業、研修、会議などを行う際に支障が出る恐れがある。また、現在の根雨小学校は通信容量が少なく、義務教育学校になって児童生徒数が増え、一斉に使用すれば通信速度が遅くなる恐れがあり、通信容量を増やすために機器を取り換える。

また、GIGAスクール構想を推進するため、オンライン教育の授業環境整備として指導者用端末を整備する必要があり、教員用iPadを7台購入する。

## 除雪 57万2千円

【概要】4トンの除雪ドーザー1台のリースを追加し、除雪運転手の育成を支援するため2名分の補助金を追加する。



除雪が遅いと苦情が減るか？

一般会計補正予算

## マイナンバーカードによる 住民票等交付事業

281万6千円

【概要】令和5年度から、マイナンバーカードによるコンビニエンスストアでの住民票・印鑑証明・税証明交付が受けられるようになる。

議員 マイナンバーカードを使ってコンビニで住民票を交付する際の手数料はいくらになりますか。また、発行してもらおう際のやり方は。今までと違うのですか。

課長 手数料は役場にいられた時と同額を考えています。手続きは、役場にいられた時と同じように手書きで申請していただく予定です。



マイナンバーカードの交付申請風景





# 9月定例会 条例制定と改正

## 昨年の12月議会で否決された 町営住宅等売却条例が再上程され、 議論の上、可決されました。

日野町営住宅等売却条例案が再上程されたほか、義務教育学校、オシドリ観察小屋に関する条例案が上程され、審議しました。

### 日野町オシドリ観察小屋の設置及び 管理に関する条例の制定

**議員** 使用料徴収とすると誰かが常駐することが前提ですが、どんな体制を考えていますか。

**課長** 開館時間は朝7時から午後5時までを考えており、開館からしばらくはオシドリグループさんに担当してもらい、その後職員に

引き継ぐことでグループさんと調整中です。

**議員** 日野町民からも使用料をとるのですか。町民に対する優待はないのですか。

**課長** 今のところ町民に対する優待は考えていません。

### 日野町立学校等設置条例の全部改正

**【概要】** 令和5年4月1日より義務教育学校が開設されることに伴い、現在の日野中学校、根雨小学校、黒坂小学校を廃止して日野学園を設置するために現存の条例を全部改正する。

**議員** 既存の条例の全面改正ではなく、義務教育学校設置条例の制定の方が分か

りやすのではないですか。

**課長** 条例の改正の手法として「全部改正」があり、義務教育学校を設置した他の自治体の例も調べたところ、どこも全部改正という手法をとっているようなので、条例担当とも検討の結果、全部改正で提案しました。

### 日野町営住宅等売却条例の制定

**【概要】** 建設から長期間が経過した一部の町営住宅については、入居中の住宅を購入して住み続けることを希望する人もいる。一方、町としては今後の維持管理費を考えると売却処分も選択肢である。したがって、入居者・町の利害が一致した場合に売却が可能となる条例を制定する。

**議員** この条例は昨年12月に一度上程されたが、いろいろと不備があり否決され

ました。その後、総務経済常任委員会で審議をし、意見を具申しました。今回の再上程にあたって修正した部分を説明してください。

**課長** 特定の人への公有財産売却なので、町長の裁量を極力排除しました。また、売却対象住宅を明確化し、5年間は転売禁止の条項を付加しました。

**議員** コンクリート造りの住宅など、解体費用が多額になる場合の対応は。

**課長** 解体費用を考慮すると建物評価額がマイナスとなる場合には建物評価額は下限ゼロとし、土地代だけになります。そのあたりは施行規則の方で手当てします。

**議員** 5年間しほりを守らなかつた場合のペナルティは考えていますか。

**課長** 貴重な指摘ですので、条例の施行規則に規定します。



## 条例の制定と改正



## 日野町固定資産評価審査委員会委員の選任

日野町固定資産評価審査委員会委員の委員として、地方税法第423号第3項の規定により議会に同意を求められ、投票の結果、全員同意し、3名が委員に同意されました。  
任期は、令和7年9月26日まで。

委員氏名 若林 昌文 氏  
上谷 修 氏  
金田 雅夫 氏

○固定資産評価審査委員会とは、  
日野町に置かれる行政委員会。町長とは独立した中立的・専門的な立場から、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定の事務を行う委員会。

# 採 決

議案	議案の概要	中山法貴	梅林敏彦	金川守仁	松尾信孝	中原信男	松本利秋	安達幸博	佐々木求	竹永明文	採決
第40号	日野町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第41号	日野町立中学校等設置条例の全部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第42号	日野町オシドリ観察小屋の設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第43号	日野町営住宅等売却条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第44号	日野町過疎地域持続的発展計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第45号	令和4年度日野町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第46号	令和4年度日野町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第47号	令和4年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第48号	令和4年度日野町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第49号	令和4年度日野町簡易水道特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第50号	令和4年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第51号	令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第52号	令和3年度日野町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
第53号	令和3年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第54号	令和3年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第55号	令和3年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第56号	令和3年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第57号	令和3年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第58号	令和3年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第59号	日野町固定資産評価審査委員会委員(若林昌文氏)の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第60号	日野町固定資産評価審査委員会委員(上谷修氏)の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第61号	日野町固定資産評価審査委員会委員(金田雅夫氏)の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第62号	令和4年度日野町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書(第4号)	肥料価格高騰対策を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

お詫びと訂正＝前号の「ひの議会だより」(133号)において、記述の間違ひがありました。6ページの「病児・病後児保育事業」の議員の質問で「この施設は日野病院のために日野町が建てたものです」と記述しましたが、編集の際の誤りでした。正しくは「日野病院が外来待合棟として建てた施設です。その後、日野町が病後・病後児保育事業を行うにあたり改修費を日野町が支出した建物です」と訂正しお詫びいたします。

採決表ほか





# 令和3年度 決算審査 報告

## 決算審査

一般会計 歳入総額 41億6688万340円

一般会計 支出総額 39億5231万8466円

賛成多数で認定



9月議会は前年度の予算が適正に執行されたか否かを審査する重要な議会です。そのため、会期中の6日間をわたって、連日、調査と議論を重ねました。

### 1 審査事件

令和3年度日野町歳入歳出決算認定について

### 2 審査対象

- (1) 一般会計歳入歳出決算
- (2) 国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 介護保険特別会計歳入歳出決算
- (4) 後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算

### (5) 簡易水道特別会計歳入歳出決算

(6) 公共下水道事業特別会計歳入歳出決算

(7) 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

### 3 委員会の開催状況

令和4年9月5日、7日、13日、14日、20日、22日の6日間

### 4 審査結果

(1) 結果 賛成多数で認定すべきものと決定した。

### (2) 理由

一般会計及び6特別会計の決算について、提出された関係書類を基に審査を実施した。審査にあたっては、担当課からの聞き取り、また、必要に応じて資料の提出も求め審査した。

その結果、一般会計決算書、特別会計決算書、実質収支に関する調査及び財産

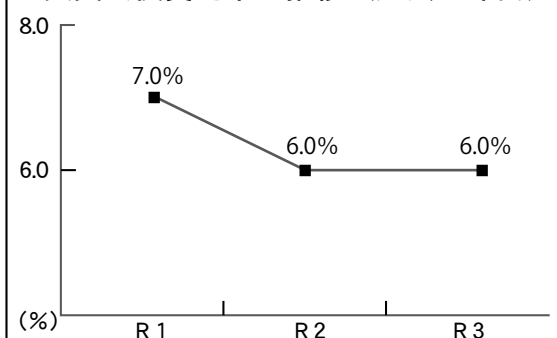
に関する調査の計数は正確であり、予算執行も適正に行われているものと認められた。

### ○財政健全化判断比率について

指標の内、実質赤字比率、連結実質赤字比率は、いずれの会計も実質収支が黒字となっており、将来負担比率は、基金の積み立ての増加などにより、マイナス数値となっており問題はない。実質公債費比率についても、早期健全化基準の25.0%を下回る6.0%であり、年々健全化に推移している。

しかし、地方交付税に依存している本町は、国内情勢により大きく左右されるため、より一層の創意工夫と危機感をもって予算執行にあたらねたい。また、過疎債を中心とした起債の借入が年々増加している。実質公債費比率等にも影響してくるので、借入については十分検討されたい。

実質公債費比率の推移（過去3年間）



※令和3年度決算審査特別委員会の審査報告詳細は左のQRコードをスマートフォンで読み込み、ホームページでご覧いただけます。  
(ご不明の点は、議会事務局にお問い合わせください)



## 令和3年度決算審査報告



討  
論

● 反対討論

予算決算の際において、同和行政の年間2000万円近くの予算計上には、根拠法である曖昧さも含めて批判をしまいりました。公正・民主的な同和行政を一日も早く実現するためには、これが最大の課題であることを指摘してまいりました。

しかし、基本的には一向に改善されていないと認識しております。例えば、毎年住宅新築資金と災害援護資金の未返済は、今日では多大なものとなり、約6000万円以上となっております。

このことが一般会計に大きな影響を与えていることは、決算報告書や監査の報告書でも十分指摘してある通りであります。したがって、公正、平等な政治の流れを願う立場からは、こうしたものを断じて容認できません。解決に向けた対応を行政が取っていないことを改めて指摘して、不認定といたします。

● 賛成討論

令和3年度の一般会計においては、町営タクシーの運行や鶴の池キャンプ場のリニューアルオープン、特定地域づくり事業など新規の事業が推進され、また日野高校魅力向上事業による県外からの入学者の増加、病児病後児保育の拡充をはじめとする子育て世代への支援充実策によると思われる移住者の増加など、各分野にわたって政策の効果が見て取れました。

さらに、未来を担う子供たちのための義務教育学校建設事業も推進されました。

コロナ対策についても、日野町くらし応援商品券事業など、各種の事業が的確に実施されました。

財政面においては、実質公債費比率は6.0%と財政健全化が進み、将来の財政支出に備えるものとなっております。

以上の観点から、令和3年度一般会計決算の認定について、賛成の討論とします。

令和3年度決算審査  
特別委員会講評

● 指摘事項

(1) 収入未済額について（住民課）

生しないよう注視するとともに一層の徴収業務に努められたい。また、今後滞納者の高齢化が進み、死亡後の未収金の徴収がすでに困難になっている事例も見受けられるため、従来の徴収方法を見直すなど検討されたい。

福祉と防災の連携をテーマとした各種事業を行う拠点施設として「ひの防災福祉コミュニティセンター」を設置し、日野ボランティア・ネットワークに委託している。

(2) 福祉と防災が連携した交流拠点づくり事業について（総務課）

たい。

一般会計・特別会計の収入未済額の総額は、1億20万480円と前年度より1925万9609円減少しているが、主要要因は、コロナ特例の徴収猶予額1590万5000円（法人町民税135万5000円、固定資産税1455万円）が入ったことによるものである。

滞納者数はわずかではあるが減少しており一定の評価はできる。

しかし、固定資産税、住宅新築資金等貸付金、災害援護資金貸付金、国民健康保険税等の未収額は依然多額であり町財政に与える影響は大きい。

今後も各課の連携を図りながら、新規の滞納者が発



ひの防災福祉コミュニティセンターと日野町社会福祉協議会との連絡会





しかし、委託している事業内容は、社会福祉協議会で行われている事業と重複しているものもあると思われる。

両者が行っている内容を精査し、役割分担を明確化されたい。

### (3) 不用額について（総務課）

不用額調書を見ると、全課にわたって多くの不用額が計上されている。不用額発生理由はそれぞれあるが、中には計画を過大に見積もり予算計上されたのではと思われる事業、毎年同じ科目で不用額が出ているケースも見受けられる。

予算査定の際には十分な聞き取りを行ったうえで予算化されたい。

### (4) 移住定住空き家対策事業について（企画政策課）

日野町移住・定住促進住宅整備費補助金の概算払いにおいて、事業が行われなかったことにより補助金返還を求めたが、全額返還さ

れず一部未納として処理された事案が見受けられた。

今後は、概算払いの根拠の明確化を行うとともに、日野町補助金等交付規則及び交付要綱に従って事務処理を適切に行うよう努められたい。

### (5) CATV番組制作について（企画政策課）

自主制作番組は、週刊ひのニュースや特別番組、議会中継など町の取り組みや事業など、番組を通して発信している。

放送開始より一定期間経過したので、今後は番組内



チャンネルひのは町内どこにでも取材に出かけます



リバーサイドひののレストラン

容について、町民を中心とした検討委員会を設けたり、アンケート等を行うなどし、町民の声が反映され町民福祉の向上に一層活かされる番組制作に取り組みられたい。

### (6) 日野町交流センター（リバーサイドひの）の決算について（産業振興課）

日野町交流センター「リバーサイドひの」には、指

定管理料として年間1200万円支払っている。決算書を確認したところ、雑損失として300万円計上されている。

内容が不明確であり実態を確認し、場合によっては委託料の返還を求めるなど適切な処理をされたい。

○指摘事項については、12月議会定例会までに改善策を議会に報告すること。



議員名の下のQRコードを読み取ると、その議員の一般質問動画が視聴できます。



田淵行男特別企画展 (令和元年9月)

**議員** 日野学園の開校に伴い廃校となる黒坂小・日野中の利活用について、検討委員会の報告、そして町民の皆様の意見を元に年度内にまとめると前回の一般質問で伺いました。本町出身者で全国的に活躍された方が各方面でおられます。

**廃校を美術関係の活用に**



松本 利秋議員



「温故知新」の諺があるように、先人の知恵を学ぶことが大切です。美術関係などの展示に活用してはどうでしょうか。

**町長** 現在、皆様の意見を踏まえ、まずは子供の遊び場、サテライトオフィスを検討しています。議員提案の文化・美術関係の整備については、別の次元で検討したいと考えます。

**移動販売と併せて見守りも重要**

**議員** 「ささえ愛コンビニプロジェクト」が10月1日からスタートしますが、高齢者等の見守りはどのように行われますか。

**町長** 今までと変わらないよう、移動販売とは別に月1回家庭を訪問して、健康状態、困りごとなどの確認を行います。

**議員** 町、社協関係者と一緒に見守られたらより効果が出ると思います。

**町長** 有効な手法だと思えます。

**議員** 民生児童委員がおられない地域があるようですが、見守り活動や要援護者の支援が行き届かないことが心配されます。

欠員の補充に向けた取り組みはどうなっていますか。

**町長** ご指摘の件、地域内からの選出であり、確保に努めるよう粘り強く依頼してまいります。

粘り強く依頼してまいります。

一般質問



松尾 信孝議員



**家庭ごみ問題へのもう一歩踏み込んだ対応を求む**

**議員** 高齢化社会においては、ごみの収集問題は社会的な問題かつ喫緊の課題だと考えます。

ごみ集積所までの運搬に難儀をしている人、近い将来確実に困る人がいます。家庭から集積所までは個人・自治会で、行政の仕事はその先からという区分は成り立たなくなってきました。地区によっては集積所まで500mも運搬するところもあります。

**町長** 集積所までの距離については、各自治会からの要望があれば解消のための方策も協議します。

**議員** 要望があればでなく、社会問題として役場から積極的に聞き取りに出向くべきだと思う。生ごみには70%の水分があり、焼却するのには大量の燃料が必要です。生ごみ総量削減のために生ごみ処理機購入への補助はあるのですか。

生ごみ処理機購入への補助はあるのですか。

生ごみ処理機購入への補助はあるのですか。

生ごみ処理機購入への補助はあるのですか。



コンポスト 生ゴミの減量に効果あり

**課長** 生ごみの水分の除去により、本町の可燃ごみは6%削減になるというデータがあります。本町にも購入補助制度があります

が、なにぶん補助金も1万円と低額で近隣自治体と比較して低く、10年以上も活用されていません。

**町長** 現行の補助金の交付要綱を見直しも考えます。ごみ自体の削減について広報等でさらに呼びかけをします。

**議員** あいさよの継承問題で町は町民生活維持にかなり踏み混んだ介入をしました。家庭ごみの問題についても、もう一歩踏み込むべきではないでしょうか。

**町長** 高齢化社会の衣食住の問題ととらえ、柔軟な対応が必要と感じました。

感じました。

感じました。





## 地球温暖化への対応に カーボンオフセット

**議員** Jクレジット制度導入の考えをお聞きます。

**町長** 再生可能エネルギーの活用や森林経営などの取組による二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を金銭的な価値を持つクレジットとして国が認証する制度です。Jクレジットを温室効果ガスを排出する企業などが購入することによって、排出量を埋め合わせる、つまり排出量をオフセットするこの制度は、温室効果ガスを削減する人にとっては、Jクレジットを売ることによって森林経営などの財源にすることができ、買う人にとっては環境貢献企業としてのイメージアップにつながるメリットがございます。



安達 幸博議員



での手続が煩雑で時間がかかること、クレジット売却までの見通しを立てにくいこと、モニタリングの負担が大きいことなどから、導入には至っていないところでございます。改めてJクレジット制度を導入している自治体の取組事例や導入された際の課題を確認、参考にさせていただきながら、導入の可否について再度分析、検討してみたいと考えております。

**議員** Jクレジットは森林計画そのものの活性化、日野町の森林の活性化というものが大前提だと思います。町長の認識はどうですか。

**町長** 森林整備を進める上での一つの付加価値的なものと捉えておりますので、森林の活性化にはつながっていくと思えます。



森林資源 木質バイオマス

## 移住定住策の効果と課題を問う

**議員** 昨年度、日野町への県外からの移住者数は前年度の16人から33人へと一挙に倍増しました。その理由をどう分析していますか。

**町長** 県外からの移住の他にも、県内からの移住者が21世帯・27名ありました。増加の理由は、コロナによる移動制限が解除されたことのほか、単身者向け野田住宅の新設、オンラインでの移住相談の実施、日野高校への県外からの入学者数が前年度の3名から9名に増えたことなどが挙げられます。



梅林 敏彦議員



**議員** 町は「実家がある」と答えられた方が多くなっています。

**議員** 町は「昨年に入居した「きらり日野町創生戦略」の中で、令和6年度までの5年間に子育て所帯の移住者数を60人に増やすという目標を立てています。2年を経過した現在、これまでの推移をどう自己評価し、今後の課題をどう挙げていますか。

**町長** 子育て所帯の移住者数は令和2年度に3世帯8名、3年度は4世帯14名で、ほぼ計画通りに推移していると評価しています。

今後移住候補者となる関係人口の増加と情報発信、町営住宅や空き家対策など住環境の整備を喫緊の課題として力を入れていきます。



日野川べりに建つ単身者向け住宅





日野病院の病児病後児保育施設



佐々木 求議員



### 病児病後児保育の充実を

**議員** 病院の建物を借り受けて行っている病児・病後児保育は子育て中の若い方には大きな希望となつていきます。

感染症や災害時にはこうした若い人達の頑張りが求められます。職員達の悲鳴は家族の悲鳴です。仕事に専念できる体制を日頃から作

っておくことが求められています。

日野町にあることで安心して子育てができると宣伝にもなりません。郡内を含め利用実態をお尋ねします。

**町長** 令和3年度は年間185件、江府町34件、日南町14件、伯耆町0件で、日野町在住者55件、日野病院職員82件でした。育児をしなから医療・介護の業務に従事する方々を守るためにも大切なことです。

### 狩猟者育成を

**議員** 狩猟者の高齢化は深刻で人数も大幅に減りました。わなで捕獲する方も高齢化、負担の増加に危険を考えるとやめる方も出てきています。

一方で被害は深刻です。食い止めることも困難になっています。そうした中で、最終処理の一つとして焼却場での処理実験が行われました。地元住民へ結果説明はおこなわれましたか。従来処理に加えて選択肢が広がることはよいが銃の免許取得など具体的な支援が必要ではないか伺います。

**町長** 説明会は議会後に行います。県の捕獲奨励金は減額されたが町単独でかさ上げしています。

### 意見書

#### 肥料価格高騰対策を求める意見書

昨年から続く国際的な原油価格の高騰と、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安によって、一次産業を中心に資材高騰が問題となつている。本町でも基幹産業である農林水産業において、不安の声が聞かれる。特に農業分野を中心に多く利用する肥料価格が生産者の経営意欲を奪い、専業・兼業問わず離農者の増加につながり農地の保全が困難となる。今こそ、国の食料安保の観点から以下の対策を要望する。

記

- (1) 原油高騰対策の中で農林水産業の資材費・燃料費高騰対策を早急に講じられたい。直接的な国の財政支援を求める。
- (2) 緊急対策の柱として、影響が大きい肥料高騰対策を関係機関やメーカーと連携して推進すること。
- また、肥料価格高騰時に対応するセーフティ・ネットの構築も検討すること。
- (3) 農林水産業の後継者の高齢化や減少によって、地方が衰退しないよう「みどりの食料システム戦略」の強化を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月27日

提出者 日野町議会

- 提出先
- 衆議院議長 様
  - 参議院議長 様
  - 内閣総理大臣 様
  - 財務大臣 様
  - 農林水産大臣 様





# 教育 民生

## 常任委員会

学校教育について教育委員会に聞き取りを行いました。

### 義務教育学校日野学園について

・校舎建設工事は、当初心配した資材等の調達状態も問題なく、令和5年4月開校を目前に進んでいる。

日野中学校で根雨小学校の生徒と一緒に学校生活をしていることについては、中学生が小学生を労わるような一面も見え、「義務教育学校」のブローグであるかのように過ごしている。

### 日野中学校・黒坂小学校跡地利用について

・サテライトオフィスとしての活用を検討する。

・現中学校体育館及びグラウンド、テニスコート、プールについては、現在の体育施設としての活用を引き続き行う。一階は乳幼児が屋内外で楽しめる施設を



設置。

・高齢者住宅としての活用も有効活用する。

・大災害などが発生した際に避難施設として整備する。

### 日野高校魅力化について

コーデイネーター活動のサポートを徹底し、住民や地域事業所などとの連携を深めていく。また、「飛び出す日野高校生」をテーマに情報発信の強化と魅力づくりを徹底する。「楽しさ」をテーマに、未来像を定め活動展開する。

○以上の聞き取りをもとに、委員会としての今後の

活動方針を組んでいくこととしました。

### 自治功労者表彰及び西部市町村議会議員研修会

令和4年8月18日

会場 伯耆町鬼の館

講演

◇演題 「聞いてもらえ、人を惹きつける話し方」

講師 BSSアナウンサー 宇田川 修一氏



上で、視聴者に呼びかけるように伝えることを大事だと強調された。

議員もまた、町民に分かりやすく伝えることが責務のひとつであることを、改めて認識させられました。

### 自治功労者表彰

中原 信男 議員

町村議会議員として通算11年以上在職し功労のあった者として表彰を受けられました。



### 日野郡町議会議員研修会

令和4年10月14日

会場 江府町役場

主催 日野郡町議会議長連 絡協議会

講演

◇演題 「放送こぼれ話」

講師 元NHKアナウンサー 藤澤 武氏

長年にわたって、大相撲の実況中継を担当された講師は、力士の興味深い逸話を交えながら、話術の大切さを説かれました。

中でも、聴衆に分かりやすく伝えるには、余計な修飾語や接続詞を使わず、センテンスを短くすることだと、名解説者・神風さんの例を引いて解説されました。

どの逸話も話術の卓抜さもあって、引き込まれる内容でした。







取材記事  
シリーズ!

# 日野に生きる

## 第9回 ありがとう! 日野町民ミュージカル

～輝く歴史をポスターで振り返る～

こんな小さな町で、こんな生き生きとしたミュージカルが、町民自身の力で20年も演じられてきたこと。それは日野町の誇りであり、未来に向けての自信です。その輝かしい歴史をポスターで振り返ります。

※ポスターが作製されていない回は舞台写真を掲載しています。



第2回(2003年)  
星のおじいさまありがとう



第1回(2002年)  
光明寺の河童



第3回(2004年)  
おしどりの物語



第9回(2010年)  
ゆめととらの暑い夏



第15回(2016年)  
かぐやひめ  
宇宙のおとぎばなし



第4回(2005年)新  
おしどりの物語



第5回(2006年)  
けい太の見た夢の中  
長楽寺の不動明王



第10回(2011年)  
きらびこの町  
遠くかしましの町おて



第11回(2012年)  
明地峠のゴンギツツね



第16回(2017年)  
ふしぎの国・不動ヶ獄



第17回(2018年)  
ももたるの仲間  
心きんしゃい番福神社のおとぎばなし



第6回(2007年)  
神々の詩



第12回(2013年)  
鶺鴒の池新おとぎばなし  
ためらい星からきた旅人たち



第7回(2008年)  
この地球に生まれて  
～希望のたすき～



第13回(2014年)  
魔法にかかった信くんとかまたち



第19回(2020年)  
未来



第8回(2009年)  
ゆめ見るふるさと  
金持神社～後醍醐天皇の道



第14回(2015年)  
1945年8月6日のできごと



第20回(2022年)  
結び目

### あとがき

9月議会は、当初予算を審議する3月議会と並んで重要な議会です。今年度の9月議会も会期23日間に及びました。

それは、前年度のすべての予算が適正に執行されているか、改善点がありはしないかを議会で調査し、議員間で互いに議論しつつ審査結果をまとめ、来年度に向けて町に進言するという任務があるからです。

その決算審査の報告と講評を本誌9頁く11頁に掲載しています。これら議会の指摘事項に対し、町は次の12月議会までに回答することになっていきます。ご注目ください。

梅林 敏彦 記

議会広報常任委員会

- 委員長 梅林 敏彦
- 副委員長 安達 幸博
- 委員 佐々木 求
- 委員 中原 信男
- 委員 松尾 信孝
- 委員 金川 守仁

